

令和3年度 大豆栽培管理情報第2号

令和3年7月発行

大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

2. 遅播き及び再播種対策・生育期の管理作業（前編）

1) 遅播き及び再播種

（参考）適期以降の播き間・株間・播種量の目安

播種期	播き幅 (cm)	株間	播種量 (kg/10a)
7月上～中旬※適期！	70	20cm程度	4～5
7月下旬～8月		15cm程度	6

ポイント

- ・栽培期間が短くなった分、圃場内の株数を増やし収量を確保しましょう。
- ・雑草の生育も適期より早いので、播種と除草剤散布は連続で行いましょう。

2) 生育期の管理作業（前編）

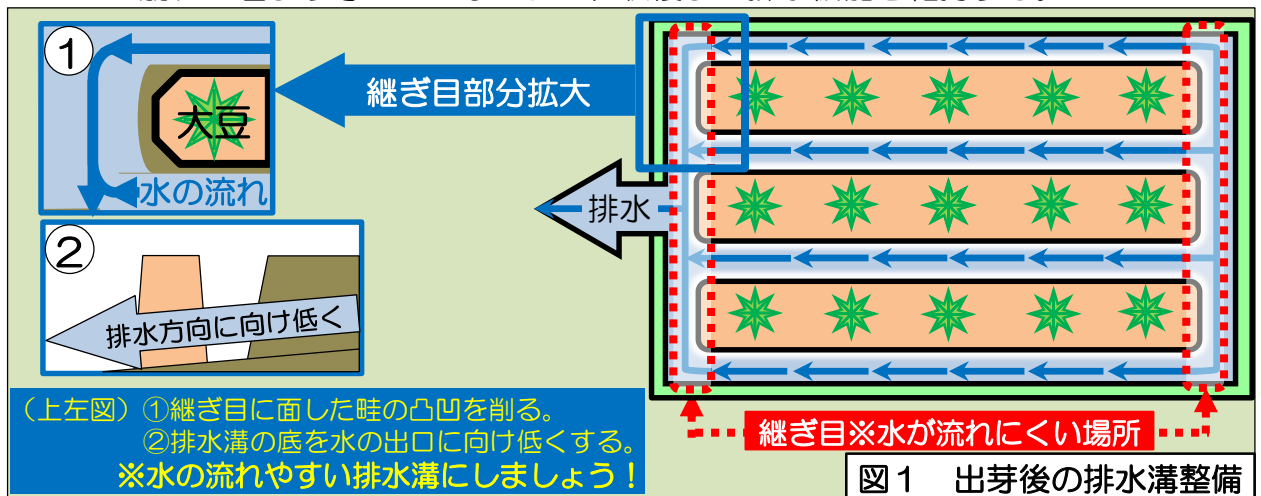
(1) 排水対策

①排水溝整備の要点

- ・排水溝は圃場の外回り（額縁）と畦間に作る。
- ・額縁と畦間の排水溝の継ぎ目は水が流れやすい形にする（下図参照）。

②栽培期間中の維持管理

崩れ・埋まり等が生じないように、収穫まで排水機能を維持する。



ポイント

水が溜まりやすい圃場は、湿害による生育不良の原因となります。雨が降っても速やかに水が出て行く状態を収穫まで維持しましょう。

(2) 中耕培土

①目的

- ・排水性及び通気性の向上
- ・株間の雑草防除
- ・発根促進による生育量増加及び倒伏防止

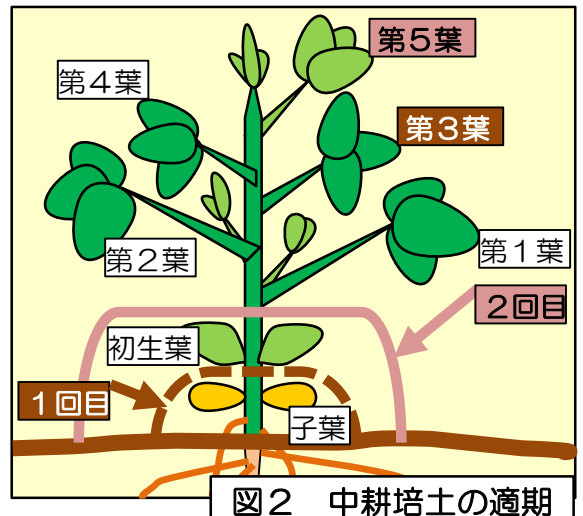
②時期

- ・1回目 本葉3葉期
(播種後20日頃)
- ・2回目 本葉5葉期
(播種後30日頃)

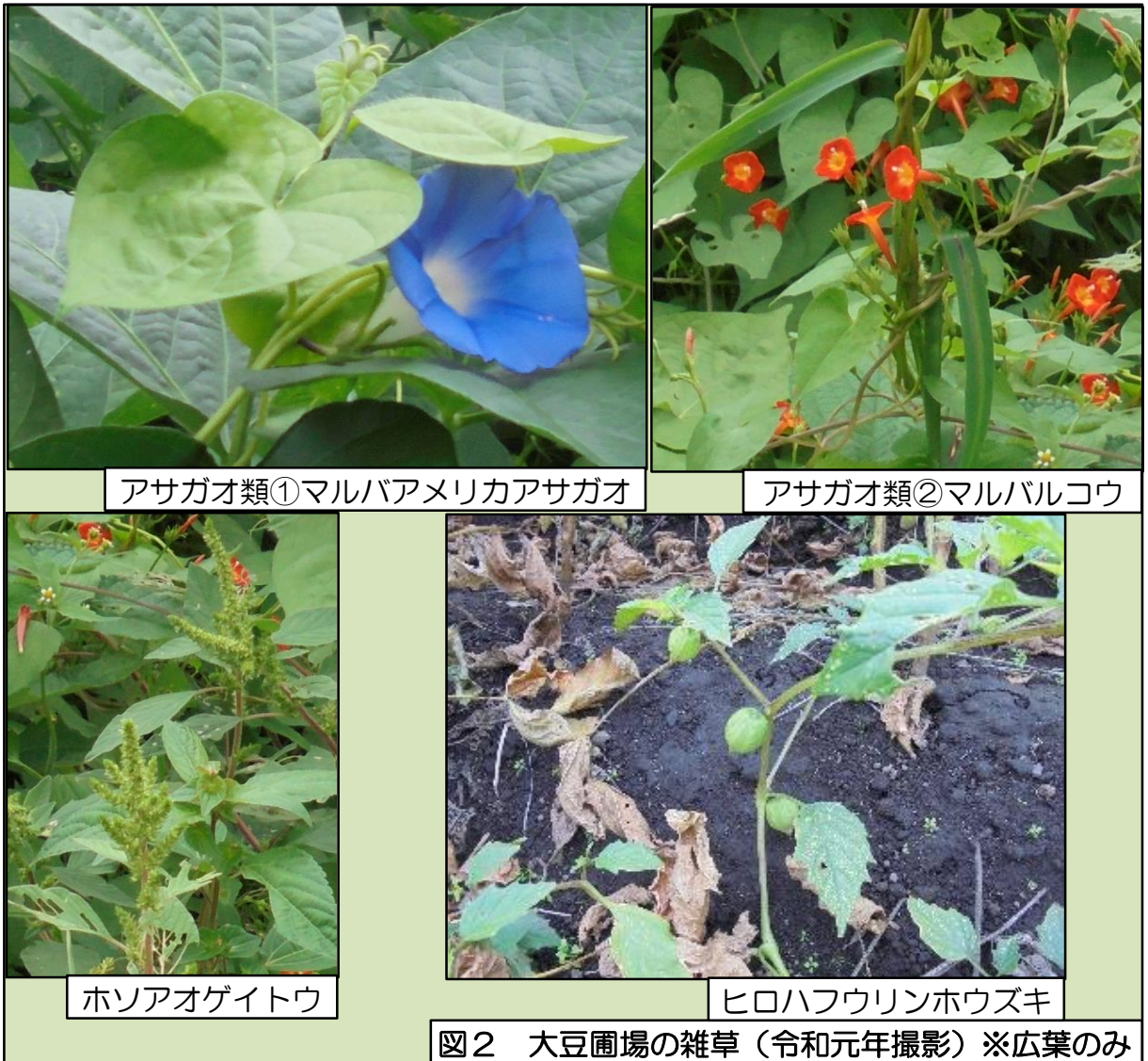
注意！ 2回目の中耕培土が遅れると大豆の生育が進み、管理機の刃で大豆を傷めます！

ポイント

- ・大豆の生育の良否は根量で決まります。適期に中耕培土を行い、生育の健全化による収量及び品質の向上を図りましょう。
- ・中耕培土を排水溝整備と同時に行うと、効率的で効果的です。



(3) 生育期の雑草防除



アサガオ類①マルバアメリカアサガオ

アサガオ類②マルバルコウ

ホソアオゲイトウ

ヒロハフウリンハウズキ

図2 大豆圃場の雑草（令和元年撮影）※広葉のみ

（参考）生育期に散布する除草剤

※アサガオ類、ホソアオゲイトウにはアタックショット乳剤を！

薬剤名	対象雑草	散布時期	散布時の注意		使用上の注意
			薬量 /10a	希釈水量 /10a	使用時期
アタックショット乳剤	一年生広葉雑草	本葉2葉期～開花前（雑草生育期） 大豆の2葉期～開花前 （雑草生育初期～6葉期）	30～50ml 100～150ml	100L	収穫45日前まで
ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草 （スズメノカタビラ除く）	雑草生育期 （イネ科雑草の3～10葉期）	200～300ml	50～100L	収穫30日前まで
セレクト乳剤 （スズメノカタビラが毎年発生する圃場）	一年生イネ科雑草	雑草生育期 （イネ科雑草の3～5葉期）	50ml	100L	収穫50日前まで

アサガオ類、ホソアオゲイトウが多い圃場では
（1回目）大豆播種後約14日目までにアタックショット乳剤
（2回目）1回目の約7日後に大豆バサグラン
 の体系処理が有効

ポイント 除草剤散布＋中耕培土を必ずセットで行いましょう！！

- ・生育期の除草剤は、雑草に直接かかるよう散布しましょう。
- ・気温が高くなり、雑草の生育も旺盛となります。除草剤を散布する場合は雑草の発生に注意し、早めに散布しましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html